編 修 趣 意 書

（教育基本法との対照表）

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-101	小学校	体育科	保健	５・６年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※ 教 科 書 名		
208・光文	保健・504	小学保健　５・６年		

１．編修の基本方針

これからの社会を生きる子供たちのために

現代的な健康に関する課題や，情報化社会の急速な進展によりさまざまな健康情報の入手が容易になるなど，環境が大きく変化しているなかで，子供たちが生涯にわたって正しい健康情報を選択し，健康に関する課題を適切に解決することが求められます。

これからの社会を生きる子供たちは，疾病等のリスクを軽減し生活の質の向上を図り，さらには健康を支える環境づくりを目指して，情報の選択や課題解決に主体的に取り組むことが必要になってきます。

そこで，「目指す子供像」と「編修の基本方針」を以下のように設定しました。

目指す子供像

これからの時代に求められる資質・能力を身に付けるとともに，学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し，生涯にわたって能動的に学び続ける子供

編修の基本方針

1　身近な生活における健康・安全についての知識と基本的な技能を理解し，身に付けることができるようにする。

2　健康・安全について自己の課題を見付け，課題解決に向けて思考・判断し，他者に伝える力を育むことができるようにする。

3　健康の保持増進と体力の向上を目指して，楽しく明るい生活を営む態度を育むことができるようにする。

①見通しをもって学習を進めることができる教科書
②主体的に課題解決学習に取り組むことができる教科書
③対話を通して学びの深まりを実感できる教科書
④自分の興味・関心に応じて学びを広げ，深めることができる教科書
⑤現代的な課題への対応を重視した教科書

① 見通しをもって学習を進めることができる教科書

「何のために学ぶのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を明らかにし，児童が保健の**学習に見通しをもって**取り組めるようにしました。**（第１号）**

✓何のために学ぶのか

◎保健を学ぶ意欲を高める巻頭ページ

「わたしと健康～保健を学ぶみなさんへ～」では，オリンピック・パラリンピック教育の視点も絡め，一流のスポーツ選手から小学生へ向けてのメッセージを掲載しました。保健を学習することで，生涯にわたって楽しく健康に過ごせる力を身に付けることができること，健康でいることが「夢をかなえる力」になることを実感できるようにしています。

このほかにも，「どうして学ぶの？」として，保健を学習する意義や大切さをストーリー形式でわかりやすく示すことで，これから始まる保健の学習への興味・関心を引き出し，目的意識をもって学習に取り組めるようにしています。

✓何を学ぶのか

◎もくじの工夫　―全体の見通しをもつ―

もくじでは，どんな学習をするのか具体的にイメージできるように，各単元の学習内容に関する問いかけを，単元名の下に児童向けの言葉で記しました。

また３・４年では５・６年に学習する内容を，５・６年では３・４年で学習した内容を示し，学習の系統性を明確にしました。

◎章扉の工夫　―大単元の見通しをもつ―

各章扉では，これから学習する内容をストーリー形式でわかりやすく示しました。ストーリーは，児童が学習内容を身近に感じられるよう設定し，健康や安全について興味・関心をもって学習に取り組めるように工夫しています。

◎学習課題の明示　―毎時間の見通しをもつ―

各単元のはじめに学習課題を示し，学習する目的を確認できるようにしました。

✓どのように学ぶのか

◎「学習の進め方を知ろう。」ページ

課題解決に向けて，保健の学習がどのような流れで進むのかを示しました。課題解決学習において大切にしたいことを確認できる配慮もしています。資料ページ・まとめページの紹介や，マーク類の解説も併せて掲載しました。

◎学習の流れが一目でわかる紙面構成

１時間を原則見開き１ページで学習することを基本とし，「導入」「学習課題」「学習活動」「まとめ」「活用」を，学習の流れに沿って配置しています。全単元統一されたデザインで，学習の流れが一目でわかるように工夫しました。紙面に沿って学習を進めることで，健康の保持増進のための基本的・基礎的な知識・技能を確実に習得できるようにしています。

また，学習活動の指示文の前に，「調べよう」「やってみよう」「考えよう」「話し合おう」のマークをつけることで，活動のしかたを明確に示しました。

② 主体的に課題解決学習に取り組むことができる教科書

児童が**自分の健康課題を見付け，その解決に向けて自らすすんで学び**，考える力を育成できるように，さまざまな工夫をしています。**（第１・２号）**

◎自分の生活と結び付けて健康課題に気づく

学習の導入として「はじめに」を毎時間設定しました。児童がこれから学ぶ内容を「自分ごと」として捉えられるように，これまでの経験をもとに考えたり，自分の生活を振り返って自身の健康課題に気づいたりできる活動を設定しています。

また，毎時間の終わりには，学習したことを生かして取り組む「学んだことを生かそう　伝えよう」の活動を設定しました。学習した知識を実生活や実社会で活用できる実践力を育てられるようにしています。

◎学習を導くキャラクター

児童の思考に寄り添った疑問や，考えを広げるための視点，課題の解決に結び付くヒントやポイントなどを，キャラクターの吹き出しで提示しました。児童の思考を促したり，問題を多面的・多角的に捉えたりできる発問となるように配慮しています。

◎「科学のとびら」「この人に聞く」のコーナー

学習内容の理解を深める科学的な資料を，「科学のとびら」コーナーとして位置付けました。

また，児童が生活と結び付けて，学習内容を身近なものとして捉えられるように，学習内容に関連する職業や専門家の人の話を「この人に聞く」コーナーとして掲載しました。

◎「学習のまとめ」ページ

各章末に「学習のまとめ」を設定しました。学習した内容を選択式の問題で確認し，丁寧に振り返ることで学習内容の確実な定着を図ります。

また，学びに向かう態度を自分で評価し，新たな課題を設定することで，学習後も継続的な学びができるようにしました。

③ 対話を通して学びの深まりを実感できる教科書

言語活動を一層重視し，児童が**他者との対話を通して，自分の考えを広げたり，深めたりできる**ようにしました。**（第２・３号）**

◎協働学習の設定

児童が話し合って考える活動や，自分の考えを他者に伝えたり，説明したりする活動を数多く取り入れ，「話し合おう」「学んだことを生かそう　伝えよう」のマークで示しました。

◎記述する活動の充実

資料をもとにただ話し合うだけではなく，自分の考えを記述して伝える活動を数多く設定しました。表現力の育成を目指し，記入するスペースは可能な限り広くとり，児童が自分の考えを十分に表現できるようにしました。

④ 自分の興味・関心に応じて学びを広げ，深めることができる教科書

学習内容に関連する資料やウェブサイトの情報などを豊富に掲載し，児童が**自分の興味・関心に応じて，課題について考えたり，調べたりすることができる**ように配慮しています。**（第１号）**

◎資料ページ「さらに広げよう　深めよう」の活用

学習内容に関連した資料をまとめて掲載しています。また，単に資料の提示にとどまることのないように，キャラクターの問いかけを工夫し，「自分ごと」として課題を捉え，「さらにもっと知りたい」と継続的に学ぶ姿勢を養える発問を設定しました。

◎ウェブサイトの紹介

コンピュータやインターネットを活用する際の注意事項を記したうえで，児童がより学びを深めたい内容を主体的に調べられるように，調べ学習に役立つウェブサイトを数多く紹介しています。

⑤ 現代的な課題への対応を重視した教科書

児童を取り巻くさまざまな社会状況や生活習慣の変化に応じた課題を，積極的に取り上げています。**（第１・３号）**

◎運動と健康の関連を重視

学校生活だけではなく家庭や地域社会など日常生活においても，自ら進んで運動を実践する習慣を形成し，生涯にわたって運動に親しみ，健康の保持増進を図っていくことができるようにするために，運動と健康の関連を重視し，各単元の中での内容の充実を図りました。

◎さまざまな課題への対応

・食に関する内容を重視
　健康な生活習慣の形成に結び付けることに配慮しながら食に関する内容を充実させました。
・情報化社会への対応
　情報化社会の発展と健康・安全という視点から内容を取り上げました。
・共生社会の実現のために
　心身の健康に努め，共によりよく生きる社会の実現のためにという視点から内容を取り上げました。
・その他
　上記以外にも「防災教育」に関する内容をはじめとして，健康・安全に関する今日的な話題を豊富に取り上げています。

2．対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭ページ	◆オリンピックやパラリンピックなどの様々な競技で活躍する選手が健康のために気を付けていることを提示することで，国際社会で活躍する選手との共通点に気づくとともに，興味や敬愛の念をもてるようにしました。（第５号）	表2，p.1
オリエンテーションページ	◆「どうして学ぶの？」では，保健を学ぶ意義をストーリー形式で伝えることで，なぜ学ぶのかを理解し，自分に必要な知識を身に付けるという自覚をもって学習に取り組めるようにしました。（第１号） ◆「どうやって学ぶの？」では，学びに向かう態度や話し合い活動の具体的な行い方を紹介することで，自他の意見を尊重し，協力しながら学びを深められるようにしました。（第１号・第３号）	p.2 p.4，5
章扉ページ	◆「章扉」では，各学年の学習内容を学ぶ意義をストーリー形式で伝え，なぜ学ぶのかを理解し，必要な知識・技能を身に付け，健やかな身体を養うという自覚をもって学習に取り組めるようにしました。（第１号）	p.7，21，39
本文全体	◆自分の健康課題の解決のために，学習したことを使って考える活動を随所に配置することで，教科書での学びが日常生活と繋がっていることへの理解を深め，学びを持続できるようにしました。（第１号） ◆外部のウェブサイトや豆知識，他教科や他学年の学習との関連を紹介することで，学習内容に関連した幅広い知識を身に付けられる機会を増やすようにしました。（第１号） ◆男女のキャラクターをバランスよく登場させることで，男女の平等や，性別に関係なく協力が大切であることを意識付けるようにしました。（第３号） ◆「この人に聞く」コーナーでは，保健室の先生などからの知識をコメント形式で紹介することで，学習に広がりをもたせ，同時に保健の学習に関係のある職業を知り，勤労を重んずる態度を養えるようにしました。（第２号） ◆「発展的な学習内容」を扱うことで，学習内容に即した幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度や健やかな身体を養えるようにしました。（第１号）	p.11,13,17,23,25,27,31,33,37,41,44,49,51,55,57,59,63 p.8,10～12,16,18,22,24,26,27,30～33,36,37,40～44,48～51,54～57,59,62 p.8～64 p.17,18,23,25,33,44,49,51,57,59,63 p.14,18,19,28,29,33,34,35,36,37,47,52,55,57,60,61,65
５年 心の健康	◆「心の発達」の活動では，心が発達する様子を俯瞰的に提示することで，多くの人に支えられて自分が成長していること，自分の存在が他者の成長のための力や糧になっていることに気づき，豊かな情操を培い，自他の敬愛と協力の精神を重んずる態度を養えるようにしました。（第１号・第３号） ◆「よりよいコミュニケーション」では，自分と相手の双方を大切にしたコミュニケーションの在り方を提示することで，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。（第３号） ◆「自分の見方を変えてみると…」では，自分の在り方を別の視点から捉え直すと違った姿や印象を発見できることを提示することで，自己肯定感を高めるとともに，個人の価値を尊重してその能力を伸ばせるようにしました。（第２号）	p.10，11 p.15 p.19
５年 けがの防止	◆「けがや事故の起こり方」「学校や地域でのけがの防止」「交通事故の防止」「犯罪被害の防止」の活動では，人の行動と周りの環境から危険を予測し，安全な行動をとることを促すことで，自分の安全を確保できるようにするとともに，自分が他者に怪我を負わせる可能性にも気づき，正義と責任を重んじ，公共の精神に基づいて社会に参画する態度を養えるようにしました。（第３号） ◆「けがの手当」「自然災害から身を守る」の活動では，けがや災害時の行動を提示することで，自らの生命を守るだけでなく，他者の生命のためにできる行動があることに気づき，生命を尊ぶ態度を養うとともに，主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。（第３号・第４号） ◆「自転車に安全に乗るために」「『歩きスマホ』は危険！」「インターネットの正しい使い方」では，現代的課題を提示することで，自分の行動に責任をもち，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。（第３号） ◆「心肺蘇生と AED」「ASUKA モデル」では，AED を使うことの重要性について触れながら，生命を尊ぶ態度を養い，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。（第３号・第４号）	p.22～27，30，31 p.32，33，36，37 p.28，29，34 p.35

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
6年 病気の予防	◆「生活習慣病の予防①」「生活習慣病の予防②」「喫煙の害」「地域の保健活動」の活動では，学習を生かして周囲の人へのアドバイスを考えたり，学習したことを周囲の人に伝えたりすることで，自他の敬愛を重んずるとともに，主体的に社会の形成に参画する精神を養えるようにしました。(第３号) ◆「喫煙の害」の活動では，禁煙場所の理由を考えさせることで，多くの人と互いを尊重し合い，どのように共生していくのかという思考を促すとともに，環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第３号・第４号) ◆「結核」「エイズ」「新しい感染症と再び注目された感染症」「『がん』のことを知ろう」「運動不足と生活習慣病」「目を大切に」「危険ドラッグに注意！」では，現代的課題や近年身近になってきた疾病等を提示することで，当事者への配慮や理解を深め，生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。(第４号) 併せて幅広い知識と教養を身に付け，豊かな道徳心を培えるようにしました。(第１号)	p.48～51，54，55，62，63 p.54，55 p.46，47，52，53，60
学習のまとめページ	◆学習したことのなかから，自分の生活に最も生かしたいと思ったことを考えさせることで，自分の生活改善についての意識を高め，自律の精神を養えるようにしました。(第２号)	p.20，38，64
共に生きる社会のために	◆世界共通のマークを提示することで，国際社会における共生の視点について気づき，場所を問わず思いやりの精神をもち，国際社会の平和に寄与する態度を養えるようにしました。(第５号)	p.65

3．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第５条に示す義務教育の目的や学校教育法第 21 条に示す義務教育の目標を達成するために以下のことについて配慮しています。

①学校教育法 21 条「第４号」における，「家族と家庭の役割，生活に必要な衣，食，住，情報，産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと」に関連して，以下の内容を掲載しています。

※食について
・食中毒（p.43）
・生活習慣病の予防①②(p48～51)
※情報について
・インターネットを使うときの注意（p.5）
・インターネットの正しい使い方（p.34）

②学校教育法第 21 条「第８号」における，「健康，安全で幸福な生活のために必要な習慣を養うとともに，運動を通じて体力を養い，心身の調和的発達を図ること」に関連して，以下の内容を掲載しています。

※運動を通じて体力を養うことについて
・運動不足になると…。(ｐ.49)
・運動と生活習慣（p.52）
※心身の調和的発達について
・ゴルフで広がったわたしの人生（p.14）
・ストレスは悪いもの？（p.19）

編 修 趣 意 書

（学習指導要領との対照表，配当授業時数）

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-101	小学校	体育科	保健	5 ・ 6年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※ 教 科 書 名		
208・光文	保健・504	小学保健　5・6年		

1．編修上特に意を用いた特色

① 見通しをもって学習を進めることができる教科書

「何のために学ぶのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を明らかにし，児童が保健の**学習に見通しをもって**取り組めるようにしました。

✓何のために学ぶのか　**◎保健を学ぶ意欲を高める巻頭ページ**

p.1

◀スポーツ選手から小学生へ向けてのメッセージを掲載しています。健康でいることが何をするにも力になることを実感できるようにしました。

p.2

▶保健を学習する意義や大切さを伝えて，これから始まる学習への興味・関心を引き出します。

✓何を学ぶのか

p.3

◎もくじの工夫

各単元の学習内容に関する問いかけを，児童向けの言葉でわかりやすく記しました。３・４年の学習内容も示し，学習の系統性も明確にしています。

p.7

p.39

◎章扉の工夫

児童が学習内容を身近に感じられるように，これから学習する内容をストーリー形式で示しました。

◎学習課題の明示

毎時間の学習課題を示し，学習の目的を確認できるようにしました。

学習課題
心は，どのように発達するのでしょうか。

学習課題
生活習慣病を予防するには，どうすればよいのでしょうか。

✓どのように学ぶのか

〈全単元を通した学習過程のパターン〉

1 本時の学習内容を自分ごととして捉える → 2 学習課題を見付ける → 3 学習課題の解決に向けて，学習活動を行う → 4 学習内容をまとめる（知識・技能の定着） → 5 自分ごととして学びを生かす

◎「学習の進め方を知ろう。」ページ

課題解決学習の進め方や，課題解決学習において大切にしたいことを確認できるようにしました。

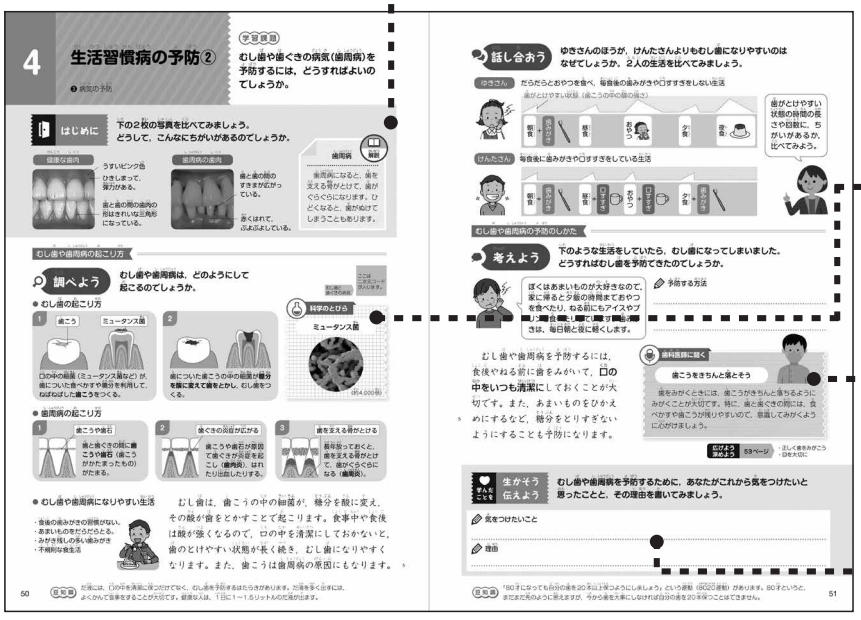
p.4 ～ 5

◎学習の流れが一目でわかる紙面構成

1 時間を原則見開き 1 ページで学習します。全単元統一されたデザインで，学習の流れがわかるようにしました。また，学習活動の指示文の前にマークをつけることで，活動のしかたを明確に示しました。

2 主体的に課題解決学習に取り組むことができる教科書

児童が**自分の健康課題を見付け，その解決に向けて自らすすんで学び**，考える力を育成できるように，さまざまな工夫をしています。



◎はじめに

毎時間の導入で，児童が学習内容を「自分ごと」として捉えられる問いを設定しています。

◎科学のとびら

学習内容の理解を深める科学的な資料を掲載しました。
(p.18,42,50,54)

◎この人に聞く

保健に関連する職業や専門家の人の話を掲載しました。
(p.17,18,23,25,33, 44,49,51,57,59,63)

◎学んだことを生かそう　伝えよう

毎時間の終わりに，学習した知識を実社会や実生活で活用できる力を育てられるようにしています。

◎学習を導くキャラクター

児童の思考に寄り添った疑問，考えを広げるための視点，課題の解決に結び付くヒントやポイントなどを，キャラクターの発言として提示しました。

◎「学習のまとめ」ページ

学習内容を選択式の問題で確認し，知識の定着を図ります。また，学びに向かう態度を自分で評価し，新たな課題を設定することで，学習後の活動へと展開できるようにしました。 (p.20,38,64)

③ 対話を通して学びの深まりを実感できる教科書

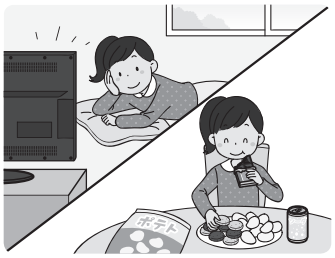
言語活動を一層重視し，児童が**他者との対話を通して，自分の考えを広げたり，深めたりできる**ようにしました。

◎協働学習の設定

話し合って考える活動や，自分の考えを他者に伝えたり，説明したりする活動を豊富に取り入れました。

◎記述する活動の充実

表現力の育成を目指し，自分の考えを記述して伝える活動を数多く設定しました。



かける言葉

理由

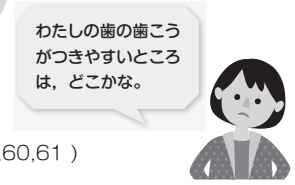
④ 自分の興味・関心に応じて学びを広げ，深めることができる教科書

学習する内容に関連する資料やウェブサイトの情報などを豊富に掲載し，児童が**自分の興味・関心に応じて，課題について考えたり，調べたりすることができる**ように配慮しています。

◎資料ページの活用 広げよう 深めよう 52ページ

学習内容に関連した資料をまとめて掲載し，キャラクターの問いかけで更なる学習を促します。

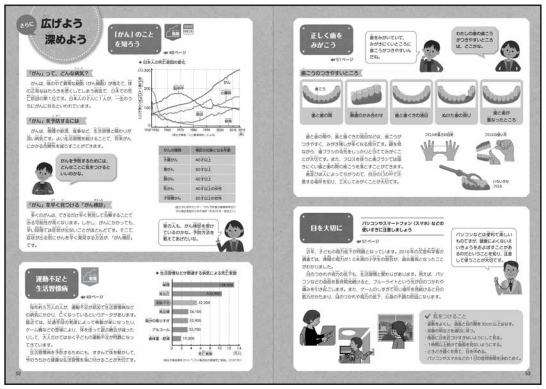
(p.14,15,19,28,29,34,35,45 ～ 47,52,53,60,61)



◎ウェブサイトの紹介 web

学習に役立つウェブサイトを数多く紹介しています。

p.52 ～ 53



⑤ 現代的な課題への対応を重視した教科書

生活習慣の乱れや社会状況の変化に応じた健康・安全に関する課題を積極的に取り上げています。

◎運動と健康の関連	日常生活においても自ら進んで運動を実践する習慣を形成し，生涯にわたって運動に親しみ，健康の保持増進を図っていけるようにするために，運動と健康の関連を扱った内容を充実させました。 運動不足になると…。(p.49)，運動不足と生活習慣病（p.52），など。
◎食に関する内容を重視	健康な生活習慣の形成に結び付けることに配慮しながら，食に関する内容を充実させました。 生活習慣病と食の関係（p.49），むし歯や歯ぐきの病気と食の関係（p.51），正しく歯をみがこう（p.53），など。
◎情報社会への対応	情報化社会の発展と健康・安全との視点から，以下の内容を取り上げました。 インターネットを使うときの注意（p.5），「歩きスマホ」は危険！（p.29），インターネットの正しい使い方（p.34），目を大切に（p.53），など。
◎共生社会への対応	心身の健康に努め，共によりよく生きる社会の実現のためにという視点から，以下の内容を取り上げました。 ゴルフで広がったわたしの人生（p.14），よりよいコミュニケーション（p.15），ストレスは悪いもの？（p.19），自分の見方を変えてみると…（p.19），共に生きる社会のために（p.65），など。
◎その他	上記以外にも，健康・安全に関する今日的な話題を豊富に取り上げています。 呼吸と不安の関係（p.18），心肺蘇生とＡＥＤ(p.35)，ＡＳＵＫＡモデル（p.35），自然災害から身を守る(p.36 ～ 37)，せきエチケット（p.42），予防接種の大切さ（p.44），新しい感染症と再び注目された感染症（p.47），病気から早く回復するには（p.47），「がん」のことを知ろう（p.52），受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連（p.55），両親の喫煙と赤ちゃんへのえいきょう（p.60），危険ドラッグに注意！（p.60），など。

【項目別特色】

項目	特色
内容	◆学習指導要領に示された内容を，児童の発達段階や興味・関心に即してわかりやすく具体化し，身近な生活との関連を図って，日常生活での**実践に結び付けることができる**ようにしています。 ◆学習したことが単なる知識の習得に終わることなく，児童自らが学び，自ら考える「生きる力」を養い，**健康的なライフスタイルを確立できる**ようにしています。
配列・分量	◆各単元の配列は，児童の発達段階と教材の**系統性を考慮して，体系的に構成**されています。 ◆原則１時間見開き１ページの構成としており，**各内容の分量をバランスよく配置**しています。
資質・能力の ３つの柱への対応	◆紙面に沿って学習を進めることで，**基礎的な知識・技能を確実に身に付けられる**ようにしました。また，習得した知識を活用して考える活動を多く取り入れたり，自分の生活にあてはめて考える活動「学んだことを生かそう　伝えよう」を毎時間の最後に設定したりして，**思考力・判断力・表現力を育める**ようにしています。 ◆各章末に「学習のまとめ」を設け，**知識の確実な定着**，学びに向かう**態度の確認**，自己の生活と関連付けて**実践する力の育成ができる**ようにしています。
主体的・対話的な 課題解決学習を促す工夫	◆巻頭や章扉，学習の進め方ページなど，児童の学習意欲を高める工夫を随所に入れています。 ◆毎単元に「はじめに」「学んだことを生かそう　伝えよう」の活動を設け，「自分ごと」として学習課題を捉え，**主体的な課題解決学習**を行えるようにしました。 ◆**言語活動の充実**を図るため，**話し合い活動**や**記述する活動**を多く取り入れました。 ◆各学習活動の前にマークを付け，活動のしかたを明確に示しました。
興味・関心に応じて 深い学びを促す工夫	◆**教育の情報化に対応**し，**教科書の紙面に二次元コード（QR コード）を配置**し，関連した動画コンテンツを手軽に見ることができるようにしています。学習内容に広がりをもたせ，より深く理解できるように配慮しています。 ◆学習内容を補足する情報を豊富に掲載するとともに，**調べ学習に役立つウェブサイト**を随所で紹介しています。
現代的な課題への対応	◆生涯にわたって運動に親しみ，健康の保持増進を図っていけるように，**運動と健康との関連を重視**し，各学年で取り扱っています。 ◆**食育，情報モラル**，**ICT 機器の活用と健康**，**防災教育**，**共生社会の実現**などに対応した内容を取り扱っています。
他教科・他領域との関連	◆運動領域の「体ほぐしの運動」や，**特別の教科道徳**をはじめ，算数，理科，家庭，社会といった**他教科・他領域の学習との関連**が図れるようにしています。
家庭や地域社会との つながり	◆保健を学習する意義やねらい，学習内容を保護者へのメッセージとして表紙に掲載しました。 ◆学習の後にも，家庭や地域に関連して調べる活動を設定し，実生活を見直したり，地域の人々との関わりを考えたりすることができるようにしています。
特別支援教育・ ユニバーサルデザイン	◆文章はわかりやすく，**簡潔な記述**にしています。特におさえたい**基礎的・基本的事項は太字や色文字**で目立たせて，理解しやすくしています。 ◆図版やグラフ等の配色は，だれにでも見やすいように**カラーユニバーサルデザインに配慮**し，専門家の指導のもと編集をしています。 ◆当該学年配当漢字や専門用語，当該学年以降に学習する漢字については，初出だけでなく都度ふりがなを付け，**児童の読みの負担を軽減**しています。 ◆**拡大教科書**と**デジタル教科書**を制作します。
判型	◆Ａ４判を採用し，使いやすさや見やすさなどを追求した，使う人にやさしい教科書づくりを心がけました。写真やイラストを大きくして児童の興味・関心をひきやすくしました。 ◆記入欄を大きくして，児童が**自分の考えを十分に表現できる**ようにしました。
文字・印刷・製本	◆標準的な教科書体を使用し，**発達段階に応じた文字の大きさ**にしています。 ◆印刷には**植物油インキ**を使用しています。また，製本には針金を使用せず，堅牢性を保ちながら環境にも配慮しています。 ◆表紙，本文ともに**再生紙を使用**しています。 ◆児童の負担感の軽減のために，**紙の厚みを抑えて軽量化**を図っています。

2．対照表

学年	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
5・6年	わたしと健康	・内容の取扱い（9）	0～1	
	どうして学ぶの？		2	
	何を学ぶの？		3	
	どうやって学ぶの？		4～6	
5年	1章　心の健康	・G　保健（1）ア，イ	7～20	3
	章扉		7	
	1．心の発達	・（1）ア（ア），イ	8～11	1
	2．心と体の関わり	・（1）ア（イ），イ	12～13	1
	資料　さらに広げよう深めよう	・（1）ア（ア）（イ），イ	14～15	
	3．不安やなやみなどへの対処	・（1）ア（ウ），イ　・内容の取扱い（2）（9）	16～18	1
	資料　さらに広げよう深めよう	・（1）ア（ウ），イ	19	
	学習のまとめ	・（1）ア，イ	20	
	2章　けがの防止	・G　保健（2）ア，イ	21～38	5
	章扉		21	
	1．けがや事故の起こり方	・（2）ア（ア），イ	22～23	1
	2．学校や地域でのけがの防止	・（2）ア（ア），イ	24～25	1
	3．交通事故の防止	・（2）ア（ア），イ	26～27	1
	資料　さらに広げよう深めよう	・（2）ア（ア），イ	28～29	
	4．犯罪被害の防止	・（2）ア（ア），イ	30～31	1
	5．けがの手当	・（2）ア（イ），イ　・内容の取扱い（7）	32～33	1
	資料　さらに広げよう深めよう	・（2）ア，イ　・内容の取扱い（7）	34～35	
	●　自然災害から身を守る【発展】	【・（2）ア（ア），イ】	36～37	
	学習のまとめ	・（2）ア，イ	38	
6年	3章　病気の予防	・G　保健（3）ア，イ	39～65	8
	章扉		39	
	1．病気の起こり方	・（3）ア（ア），イ	40～41	1
	2．感染症の予防	・（3）ア（イ），イ	42～44	1
	資料　さらに広げよう深めよう	・（3）ア（ア）（イ），イ　・内容の取扱い（7）	45～47	
	3．生活習慣病の予防①	・（3）ア（ウ），イ　・内容の取扱い（9）	48～49	1
	4．生活習慣病の予防②	・（3）ア（ウ），イ	50～51	1
	資料　さらに広げよう深めよう	・（3）ア（ウ），イ　・内容の取扱い（9）	52～53	
	5．喫煙の害	・（3）ア（エ），イ	54～55	1
	6．飲酒の害	・（3）ア（エ），イ	56～57	1
	7．薬物乱用の害	・（3）ア（エ），イ　・内容の取扱い（8）	58～59	1
	資料　さらに広げよう深めよう	・（3）ア（エ），イ	60～61	
	8．地域の保健活動	・（3）ア（オ），イ	62～63	1
	学習のまとめ	・（3）ア，イ	64	
	共に生きる社会のために【発展】		65	
			合計	16

編　修　趣　意　書
（発展的な学習内容の記述）

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
30－101	小学校	体育科	保健	5･6年
※発行者の番号･略称	※教科書の記号･番号	※教 科 書 名		
208･光文	保健・５０４	小学保健 5･6年		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
14	笑いの効果	2	G保健(1)心の健康について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに，簡単な対処をすること。 (イ)心と体には，密接な関係があること。	0.25 ページ
18	不安やなやみと呼吸	2	G保健(1)心の健康について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに，簡単な対処をすること。 (ウ)不安や悩みへの対処には，大人や友達に相談する，仲間と遊ぶ，運動をするなどいろいろな方法があること。	0.75 ページ
19	ストレスは悪いもの？	1	G保健(1)心の健康について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに，簡単な対処をすること。 (ウ)不安や悩みへの対処には，大人や友達に相談する，仲間と遊ぶ，運動をするなどいろいろな方法があること。	0.5 ページ
19	自分の見方を変えてみると…	2	G保健(1)心の健康について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに，簡単な対処をすること。 (ウ)不安や悩みへの対処には，大人や友達に相談する，仲間と遊ぶ，運動をするなどいろいろな方法があること。	0.5 ページ
28	自転車に安全に乗るために	1	G保健(2)けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。 (ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。	0.75 ページ
29	「歩きスマホ」は危険！	2	G保健(2)けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。 (ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。	0.5 ページ
33	熱中症に注意！	1	G保健(2)けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。 (ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。 (イ)けがなどの簡単な手当は，速やかに行う必要があること。	0.25 ページ
34	インターネットの正しい使い方	2	G保健(2)けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。 (ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。	0.75 ページ
35	心肺蘇生とAED	1	G保健(2)けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。 (ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。 (イ)けがなどの簡単な手当は，速やかに行う必要があること。	0.5 ページ
35	ASUKAモデル	1	G保健(2)けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。 (ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。 (イ)けがなどの簡単な手当は，速やかに行う必要があること。	0.5 ページ

36 ～ 37	自然災害から身を守る	1	G保健(2)けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。 (ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。	2 ページ
47	新しい感染症と再び注目された感染症	1	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (イ)病原体が主な要因となって起こる病気の予防には，病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。	0.5 ページ
47	自分の「平熱」を知っておく	2	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (イ)病原体が主な要因となって起こる病気の予防には，病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。	0.25 ページ
52	「がん」のことを知ろう	1	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (ウ)生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には，適切な運動，栄養の偏りのない食事をとること，口腔の衛生を保つことなど，望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.75 ページ
52	運動不足と生活習慣病	2	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (ウ)生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には，適切な運動，栄養の偏りのない食事をとること，口腔の衛生を保つことなど，望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.25 ページ
55	たばこのけむりの中の主な有害物質	1	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (エ)喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となること。	0.25 ページ
57	飲酒を始めた年齢とアルコール依存症	2	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (エ)喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となること。	0.25 ページ
60	両親の喫煙と赤ちゃんへのえいきょう	2	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (エ)喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となること。	0.5ページ
60	危険ドラッグに注意！	2	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (エ)喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となること。	0.75 ページ
61	医薬品の正しい使用のしかた	1	G保健(3)病気の予防について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 病気の予防について理解すること。 (エ)喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となること。	0.5 ページ
65	共に生きる社会のために	2	G保健(2)けがの防止について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに，けがなどの簡単な手当をすること。 (ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には，周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要であること。	0.75 ページ
			合計	12 ページ

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上，隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても，当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容

2…学習指導要領上，どの学年等でも扱うこととされていない内容